



通算才 117号
1965~1966-6-22
函館北ロータリークラブ

第103回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
1230~1330

※ 飯田国際奉仕委員長

昨日の富田先生のお話もあり、懸案であつたマツチドクラブえの手紙を英訳して昨夜送りました。又財団交換学生計画は当クラブはまだ無理でしょう。

※ 深瀬ロータリー情報委員長（次期プログラム委員長）

個人的にはやりましたが組織的な情報活動をやらす申し訳ありません。プログラムは皆様のお好みに合うお膳立をしたいので、御意見をお寄せ下さい。

※ 戸栗幹事

お役に立たず手違いばかりで申し訳ありませんでした。本来皆さんにやつていただくべき仕事を、連絡がとれないため私がやつてしまうことが多く、肝心の幹事業務が疎かになりがちでした。次期幹事さんは御留意下さい。

※ 飯田次期会長

不勉強なのでこれから「会長必携」を読んで勉強します。月末に出張しなければなりません、副会長さんが二人なので心強い。遠藤名会長さんのあとをうけ一生懸命やりたいと思いますのでよろしく。

※ 神原次期副会長（次期クラブ奉仕委員長）

大役を仰せつかつたがどうしてよいか見当がつかず、皆さんに不満足を与えるであろうと心配です。色々お教えいただきたいと思つています。

※ 野村次期会員選考委員長

先ず皆さんから選考する人をどんどんあげていただきたい。

※ 木屋次期広報委員長

大いに広報をやるために各委員会よりの積極的な連絡を望みます。

※ 山内職業分類委員長

職業分類別会員表、未充填職業分類一覧表等をつくつたのが仕事でした。

※ 遠藤次期社会奉仕委員長

社会奉仕は部門が広く、大クラブでは青少年担当の係等仕事を分担しています。とりあえず前委員長さんの線にそつて努力するつもりです。

※ 市川次期幹事

前幹事さんのようにうまくやれる自信がありません。無能粗忽ぶりを発揮すると思つていますが、お笑い下さる前に先ずお教え下さい。

※ 杉本次期SAA

現在のSAAは食事の件でも苦勞しています。SAAにはもつと大切な役がある筈なので、ここで例会場変更を動機として提出したい。

※ 自由討議

ロイヤルホテル案、駅前拓銀ビル案、又現会場を可とする案等種々討議されましたが、新年度の課題として新役員にお願いすることになりました。

本日のプログラム

新旧会長の挨拶

- ※ 司会 遠藤会長
- ※ 斉唱 奉仕の理想
- ※ ビジター 阿部恵三男君（森 食料調達） 谷義一君（森 電気工事）
和賀 弘君（森 旅館）
徳田和太郎君他7名（函館） 斎藤誠太郎君他5名（函館東）

※ 映画 交通事故 —— 悲しみの記録 ——

この映画は警視庁交通部監修、日本シネセン株式会社の製作によるもので、最近2カ月間の東京都内交通事故の生々しい悲しみの記録である。

年々凄まじく増加する自動車には、道路をいくらつくつても追い付かない。道路交通法が厳として存在するが、人々が守らなければ何もならず、年間1万人以上（15才以下は約2千人）の人命が交通事故で失われている。一方ではドライバーが2千万人を突破し、日増しにふえてゆく。

免許証とは単に車を運転するためのものであつて、事故をおこさぬ保証ではない。ドライバーは少し馴れると免許取りたての頃の初心を忘れる。そして自分だけは事故をおこさぬと過信する。然し相手がある。相手の不注意でも事故になる。又夜ともなれば酒を飲む機会が多くなる。酔つぱらいいによる事故も多い。又スピードの出し過ぎは緊張をうみ、緊張は疲労をもたらす、感覚を鈍らせ、屢々大事故の原因となる。更に踏切での不注意、無理な追い越し等、危険は限りなくある。

画面には交通事故が生々しく写し出される。無残に潰れた車、血だらけの怪我人、そして死んでしまつた人。誰かが叫ぶ。「あ、首が無い！」

死亡者の33%は道路横断中であると言う。車が時速40キロで走つたとすると、1秒間に11.1メートル進むことになる。歩行者が1秒間に1メートル歩くとすれば、横断歩道を渡るのに何秒かかるだろうか。危い危い。子供や年寄りには特に注意しなければいけない。雨降りの夜も危険だ。

歩行者に例え過失があつたとしても、ドライバーは責任を負わなければならぬ。ドライバーはハンドルを握つた時から、事故をおこせば刑事上の責任、免



許取消し等の行政上の処分、そして被害者に対する賠償等の民法上の責任を負うことを肝に銘じなければならぬ。更に事故をおこせば、相手の一生を台無しにするのみならず、自分及び家族にも甚大な被害をもたらすことを承知しなければならぬ。受刑者達が画面に登場する。だが後悔は先に立たない。

人命の尊重はすべてのドライバーに課せられた重大な義務である。然し車の走るところ毎日のように事故がある。画面では事故にあつた子供が死の恐怖と戦っている。治療する医師と、見守る母親の顔。そしてその子供は死んだ。仏前に可憐な手を合わせる幼い弟。涙にむせぶ幼い姉。これは映画ではない。このようなことが頻発してよいのだろうか。

今日もまた救急車が走つてゆく。悪い道路環境と車の氾濫は常に交通事故の危険をはらんでいる。それに悪いドライバーと悪い歩行者。まだ半世紀前の交通感覚しか持つていないようだ。すべての人々が交通のルールと交通道徳を守らない限り、事故は絶滅しないであろう。不幸にして事故にあつた方々の御冥福を祈ると共に、事故の防止を心から願うものである。

◎新初代会長より遠藤会長までの2年間

新クラブが船矢かな祝福を受けて発足し、高田か2年の間にかくも立派に成長した今、宮さんは充分ロータリー精神を塚田ことと思います。創立の時パナーを作りましたが、バックの色を木村さきにするか西村さきにするかに迷い、結局青が飯田ろうと神がえました。又例会場は皆さんが喜んで木屋すいよう、函館山形かく遠く、港が眼下に見渡せ、ビジターに眺めが飯田ろうと貢然と自慢出来る明治生命館を選んだのです。始めは出席率野村があつて悪く、一時は地区最低と言う青柳陰な場面もありましたが、ここまで北村には、全会員が如何になすべきかを、真面目に夜深瀬もせず、テレビもろくに水、上がえ、ロータリーの理想はいくら高杉でも良いとの意気込で、市川100%を達成しよう外山ずに努力し、森もり堀きつた一幕があつたのです。杉本の70%台に成田ら困るので、今後も神原なくてはなりません。藤野用件で例会に出席出来ず、失敗つた戸栗ごとを並べぬよう、俣野機会になどと言わず、宮崎にマークアップしておく安全です。(拍手石橋なり山内降壇) The 遠藤

— 閃人提供 —

※ 出席報告

- 1. 本日 会員数 31名 出席 19名
- 2. 前回の確定出席率 74.89% (31名中出席23名)
- 参 考 函館クラブ 91.59% 函館東クラブ 93.15%

本日のプログラム 飯田新会長の挨拶 他

- ※ 司 会 遠藤会長 ※ 斉 唱 手に手つないで
- ※ ビジター 酒井唯八君他8名(函館) 中島宗吉君他8名(函館東)
- ※ 戸 栗 幹 事

1. 市川会員が赤平クラブとパナー交換をして参りました。(回覧)
2. 本日で私の任務を終ります。御協力有難うございました。

※ 遠藤 会 長

昨年就任の時、会長とは帽子のよりのもので、暑さ寒さの変わり位にはなるが人全体から見れば機能には関係無く、実際に働くのは帽子の下であると申し上げました。会長として無能であつた私が、皆様方の補佐により大過なく過すことが出来、感謝にたえません。ただ優秀な新会員を10名得られたことは嬉しく小さいながらも創立時に新さんが言われた、格調高き雰囲気と開拓精神を身につけたクラブになりつつあると思います。クラブの雰囲気も盛り上つて来たと、何よりも個人の繋がりが強化されたことを心強く感じております。

※ 塚 田 副 会 長

ロータリー1年生の私が、北クラブ2年目の重要な時期にクラブ奉仕担当を命ぜられ、顧みて無気力な1年であつたことを感じています。先程会長さんは無能と謙遜されましたが、名会長さんであつたことは衆目の認めるところであり、私が代つて司会をしたのは3回だけで、大変楽な、幸福な副会長であつたことを感謝しております。今後は別な立場からクラブに微力を捧げます。

※ 新 職 業 奉 仕 委 員 長

職業奉仕委員長は楽であろうとの多少の横着心もあつて自ら買つて出たのですが、結局この1年何もやらずで慙愧にたえません。然し七重浜海難慰霊碑周辺の整備は、当クラブとしても宣言した以上、次年度には是非着手したいので引き続きよろしくお願ひします。

又嵯峨ガパナーから近江分区代理にフォーラムの礼状が来ておりましたので、函館クラブ木島さんに託し、勝木さん、大沼さんに回覧致します。